

2025年 **新刊**
4月下旬発売

書店・番線印

ご担当者

冊

友のためにささげたいのち
コルベ神父
千葉茂樹著

女子パウロ会 発行

ISBN 978-4-7896-0847-3 C0123

本体1,100円+税



千葉茂樹 著

1933年福島市生まれ。
日本シナリオ作家協会会員。
近代映画協会所属。映画監督、
脚本家として多方面で活動。
映像作品に、『一粒の麦』(大映、
文部省特選)、『こころの山脈』
(東宝)、『孤島の太陽』(日活)、
『マザー・テレサとその世界』
(近代映画協会・女子パウロ会、
各種映画賞受賞)、『コルベ神
父の生涯－アウシュビッツ
愛の奇跡－』(近代映画協会・
女子パウロ会、第3回日本赤
十字映画祭最優秀賞)他多数。
マザー・テレサに関連する著書
もある。

定価1,210円(本体1,100円+税)

A6(文庫)判 192頁 並製 ISBN978-4-7896-0847-3 C0123 NDC289

児童書から一般向けに変更して文庫化。挿し絵なし。ただし経年表記は刊行当時のまま



女子パウロ会 発行 107-0052 東京都港区赤坂8-12-42 TEL 03-3479-3943 FAX 03-3479-3944

コルベ神父 友のためにささげたいのち

アウシュビッツ強制収容所で、逃亡成功の報復に餓死刑を宣告された人の、身代わりを申し出たポーランド人のコルベ神父。協力を強要するナチスに屈せず、2度の逮捕と3度の強制収容所行きを経た、ナチスもたじろぐ大事件でした。

愛によるこの殉教は、突発的ではなく、47年にわたる信仰の歩み、世界中の人びと(広義の<友>)のための、崇高な生き方の結実です。



マキシミアノ・コルベ
(1894～1941)

アウシュビッツ強制収容所、解放から80年

強制収容所でも、常に愛とやさしさの人

若いときからの結核で苦しみ、やせ細っても
食事を他の病人に分け、柔らかなベッドも辞退
「わたしよりもだれかほかにもっと苦しんでいる
人がいるでしょう。」

コルベ神父のおかげで刑を免れた人の証言

「コルベ神父さまの死は、あの悪らつなナチス
に対する大きな勝利だとわたしは思っています。
……その狂ったような嵐のなかで、コルベ
神父さまはそれを一人で押しとどめたので
すから……。……祈りによって、精神のうえで
敵に勝ったのです。」(ポーランドで著者が直接取材)

餓死刑の身代わりを責任者に申し出る

「死そのものはけって恐ろしいものではないのです。
いちばん恐ろしいのは、わたしたちの心がけだもの
になってしまうことです。」(餓死刑宣告を待つ前夜に)

(餓死刑を宣告された)「十名は、いま第十一号棟の地
下牢へ連れ去られていきます。いちばん最後から
コルベ神父がついていきます。でも、その顔には、涙
はありません。かえって晴れやかともいえる顔で、天
を仰ぐように歩いていきます。」

息子の身代わりの刑死を知った母の言葉

「あなたは戦争の憎しみ合うなかで、人びとを
愛し続け、いのちをかけて平和の道具となった
のですね……。」